夢描く場所

千葉市立高等特別支援学校
学校だより　第６号
令和５年10月31日

いろいろな「つながり」を大事にしましょう！

千葉県特別支援学校 高等部スポーツ大会の余韻が冷めやらぬ中、今年度は例年より約１か月早く光 toku 祭の開催となりました。年度当初から計画的に組んでいた行事日程であったため、夏季休業明け（いや、夏季休業前）から準備しておりましたが、正直なかなかハードなスケジュールとなっておりました。しかし、生徒も教職員も覚悟を決めて取り組み、苦労しながらも充実した日々となっておりました。当日は天候にも恵まれ、685名の来場者に、80万円を超える総売り上げという、大盛況のもと終えることができました。製品の完売も嬉しいことではありますが、製品の質の高さに感動していただいたり、案内や作業の様子にお褒めの声をかけていただいたりしたことが、何よりも今後の励みと自信につながります。ご来校いただきました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

光 toku 祭が終了し、代休明けに事後集会。すぐに前期終業式で5日間の秋季休業を挟み後期のスタートとなりました。今回、事後集会、終業式、始業式と立て続けに生徒に向けての話をする機会がありました。同じようなことを繰り返し伝えており、わかりにくかったと思いますので、今一度、簡単に要約して載せさせていただきます。

<事後集会>今年度のテーマにあった「tokimeku 心」は、ワクワクドキドキしながら自分たちも楽しみつつ、喜ばれることに喜びを感じることができ大成功でした。また、保護者や地域の方々、卒業生に前任や元担任の先生方、学校関係者や企業の方々まで多くの人に来ていただけました。いろいろな方と「つながれ」ることができたと思います。このつながりは、自分自身の世界を広げることになりますので大切にしていきましょう。

<終業式>前期、入学式に始まりスポーツフェスティバル、修学旅行に宿泊学習、職場見学や現場実習、スポーツ大会に先日終えたばかりの光 toku 祭とたくさんの行事がありました。一つ一つの行事を大事にして、満足充実させていくことが次のやる気、モチベーションにつながります。人とのつながりも大事ですし行事等のつながり、積み重ねも大事です。どちらも大切にしていきましょう。

<始業式>今年度いろいろな場面で使っているフレーズ「考えて 決めて やってみる」について、前期の取り組みは実際どうだったのか、何が良くて何が悪かったのか、何が出来て何が出来なかったのかをしっかりと振り返ることが大切です。いよいよ後期が始まります。前期を改めて振り返り、これは出来たからステップアップしよう、これは難しかったから違う方法にしようなど、考えを次につなげていきましょう。

今回話したことに共通しているのは「つながり」という言葉でした。人と人とのつながり、時間的なつながり、考え方のつながり、どれも大事な「つながり」だと思います。これからもたくさんのつながりを感じることがあると思います。自分から積極的につなげるという意識をもって過ごしていきたいですね。

校長　三宅 健二朗